



2019年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年7月30日

上場会社名 ソフトブレイン株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4779 URL https://www.softbrain.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 豊田 浩文
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部長 (氏名) 木下 鉄平 TEL 03 (6880) 9500
 四半期報告書提出予定日 2019年8月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・証券アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2019年12月期第2四半期の連結業績（2019年1月1日～2019年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第2四半期	4,852	12.1	581	26.1	585	25.9	377	31.0
2018年12月期第2四半期	4,328	9.8	461	5.5	464	6.6	287	△0.8

(注) 包括利益 2019年12月期第2四半期 387百万円 (27.6%) 2018年12月期第2四半期 303百万円 (1.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期第2四半期	12.86	—
2018年12月期第2四半期	9.82	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年12月期第2四半期	6,944	4,812	66.0
2018年12月期	6,861	4,712	65.4

(参考) 自己資本 2019年12月期第2四半期 4,585百万円 2018年12月期 4,486百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期	—	0.00	—	8.00	8.00
2019年12月期	—	0.00	—	—	—
2019年12月期（予想）	—	—	—	8.50	8.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2019年12月期の連結業績予想（2019年1月1日～2019年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,930	8.1	1,320	7.0	1,320	6.4	840	5.4	28.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年12月期2Q	30,955,000株	2018年12月期	30,955,000株
② 期末自己株式数	2019年12月期2Q	1,717,300株	2018年12月期	1,622,800株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年12月期2Q	29,336,266株	2018年12月期2Q	29,320,693株

(注) 期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式数には、従業員向け株式交付制度「株式付与ESOP信託」に係る信託財産として、日本マスタートラスト信託銀行株式会社（株式付与ESOP信託口）が所有している当社株式（2019年12月期2Q：167,300株、2018年12月期：72,800株、2018年12月期2Q：83,100株）を含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）2-3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(日付の表示変更について)

第1四半期連結会計期間より、日付の表示を和暦から西暦に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループの当第2四半期連結累計期間の連結業績は、

売上高	4,852百万円(前年同期比12.1%増)
営業利益	581百万円(前年同期比26.1%増)
経常利益	585百万円(前年同期比25.9%増)
親会社株主に帰属する四半期純利益	377百万円(前年同期比31.3%増)

となりました。

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、令和への改元や大型連休による特需などにより個人消費の底堅さが見られたものの、米中の貿易摩擦激化や円高傾向による収益環境の悪化、慢性的な人手不足の影響などにより、国内外の経済状況は不確実性を増しており、引き続き注視が必要な状況にあります。

このような経済状況の中、当社は2018年1月に「ソフトブレーン 中期経営計画2018-2020」を策定、安定的・継続的な高成長に向けた基盤構築のための準備期間と位置づけ、フローからストックへの収益モデルの転換を目指しております。

当第2四半期連結累計期間はシステム開発事業及び出版事業が減収となったものの、営業イノベーション事業及びフィールドマーケティング事業が堅調に推移したことにより、増収となりました。利益面におきましては、営業イノベーション事業、フィールドマーケティング事業およびシステム開発事業が増益となりましたが、出版事業が減益となり、全体としては営業利益、経常利益は増益となりました。

各セグメントの業績については以下の通りです。

1. 営業イノベーション事業

当事業におきましては、営業面では引き続きセミナー開催などを通じて新規顧客の開拓を推進するとともに、既存顧客への更なる利用促進のために、従来の活用支援サービスに加え、集合型ユーザー研修を強化いたしました。また、開発面では主力商品であるCRM/SFAソフトウェア「eセールスマネージャー」の使い勝手の良さを追求した開発やセルフサブ型「eセールスマネージャーRemix MS」の開発に引き続き取り組みました。

当第2四半期連結累計期間におきましては、主力商品であるCRM/SFAソフトウェア「eセールスマネージャー」の販売がクラウド型を中心に堅調に推移いたしました結果、売上高は2,560百万円(前年同期比15.5%増)となりました。また利益面に関しましては、成長に向けての開発や人件費等の先行費用の増加はあったものの、結果としてセグメント利益は409百万円(同27.7%増)となりました。

2. フィールドマーケティング事業

当事業におきましては、大手消費財メーカーを中心に継続的な営業活動によりニーズの把握、案件発掘、新規提案を積極的に行うとともに、業種や業務の幅を拡大した「フィールド・クラウドソーシング」のコンセプトの下、新たな市場開拓に向けた取り組みを進めております。

当第2四半期連結累計期間におきましては、主力サービスである定期フィールドビジネスや人材派遣ビジネスが引き続き堅調に推移したことなどにより、売上が伸長いたしました結果、売上高は1,997百万円(同10.6%増)、セグメント利益は197百万円(同24.6%増)となりました。

3. システム開発事業

当第2四半期連結累計期間におきましては、一部大型案件の取引規模縮小の影響により減収となりました。一方、費用面では、プロジェクト管理の徹底による収益性改善の見直しを図るなどコスト抑制にも取り組んだ結果、売上高費用比率は改善いたしました。

以上の結果、売上高は194百万円(同3.1%減)、セグメント利益は4百万円(同6.3%増)となりました。

4. 出版事業

当第2四半期連結累計期間におきましては、売上面では書籍販売の減少を背景に減収となりました。利益面については引き続きコストの抑制に取り組みましたが、減収により損失幅も拡大となりました。

以上の結果、売上高は99百万円(同5.6%減)、セグメント利益は30百万円の損失(前年同期は22百万円の損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当社グループの当第2四半期連結会計期間末の資産、負債、純資産の状況は、

資産	6,944百万円	(前連結会計年度末比 1.2%増)
負債	2,132百万円	(前連結会計年度末比 0.8%減)
純資産	4,812百万円	(前連結会計年度末比 2.1%増)

となりました。当第2四半期連結会計期間末の財政状態の分析は、以下の通りです。

なお、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態の状況については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値で前連結会計年度との比較・分析を行っております。

<資産>

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ82百万円増加し、6,944百万円となりました。主な要因は、差入保証金が124百万円増加したことによるものです。

<負債>

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ17百万円減少し、2,132百万円となりました。主な要因は、未払法人税等が96百万円減少したことによるものです。

<純資産>

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ99百万円増加し、4,812百万円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益を377百万円計上したこと、235百万円の剰余金配当を実施したことによるものです。以上の結果、自己資本比率は、66.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期業績予想につきましては、2019年1月30日に公表いたしました2019年12月期連結業績予想から修正しておりません。

なお、上記の予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれておりません。そのため様々な要因の変化により、実際の業績はこれと大きく異なる可能性がある事をご承知おきください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,010,159	3,993,008
受取手形及び売掛金	1,702,662	1,733,902
商品及び製品	65,728	53,514
仕掛品	65,917	58,518
その他	161,270	157,036
貸倒引当金	△17,776	△11,108
流動資産合計	5,987,962	5,984,871
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	94,064	94,064
減価償却累計額	△42,664	△58,168
建物及び構築物(純額)	51,400	35,896
工具、器具及び備品	316,181	328,678
減価償却累計額	△243,244	△257,134
工具、器具及び備品(純額)	72,937	71,543
その他	—	133
有形固定資産合計	124,338	107,573
無形固定資産		
ソフトウェア	525,608	520,258
その他	915	915
無形固定資産合計	526,523	521,173
投資その他の資産		
投資有価証券	2,500	2,500
差入保証金	134,853	259,834
長期滞留債権	40,840	40,840
繰延税金資産	82,798	65,702
その他	3,000	3,000
貸倒引当金	△40,840	△40,840
投資その他の資産合計	223,152	331,036
固定資産合計	874,014	959,783
資産合計	6,861,977	6,944,655

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	324,113	326,922
未払金	419,592	419,797
未払役員賞与	49,505	—
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	56,000	56,000
未払法人税等	284,064	187,737
前受金	548,758	715,815
賞与引当金	64,267	41,815
役員賞与引当金	—	18,018
返品調整引当金	11,461	13,166
その他	243,584	226,910
流動負債合計	2,101,347	2,106,184
固定負債		
長期借入金	28,000	—
株式給付引当金	7,360	14,710
その他	12,935	11,557
固定負債合計	48,295	26,267
負債合計	2,149,642	2,132,451
純資産の部		
株主資本		
資本金	826,064	826,064
資本剰余金	367,795	367,795
利益剰余金	3,541,844	3,683,991
自己株式	△249,503	△292,329
株主資本合計	4,486,200	4,585,521
非支配株主持分	226,134	226,681
純資産合計	4,712,334	4,812,203
負債純資産合計	6,861,977	6,944,655

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)
売上高	4,328,512	4,852,302
売上原価	2,797,506	3,117,943
売上総利益	1,531,005	1,734,358
販売費及び一般管理費	1,069,729	1,152,592
営業利益	461,275	581,766
営業外収益		
受取利息	66	189
受取返戻金	—	1,050
為替差益	435	719
助成金収入	2,255	670
その他	1,610	1,434
営業外収益合計	4,368	4,063
営業外費用		
支払利息	475	651
リース解約損	550	70
その他	—	39
営業外費用合計	1,025	760
経常利益	464,618	585,069
税金等調整前四半期純利益	464,618	585,069
法人税、住民税及び事業税	149,776	180,380
法人税等調整額	11,132	17,096
法人税等合計	160,909	197,476
四半期純利益	303,708	387,592
非支配株主に帰属する四半期純利益	15,726	10,204
親会社株主に帰属する四半期純利益	287,982	377,387

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	303,708	387,592
四半期包括利益	303,708	387,592
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	287,982	377,387
非支配株主に係る四半期包括利益	15,726	10,204

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	464,618	585,069
減価償却費	135,242	153,278
貸倒引当金の増減額(△は減少)	2,795	△6,667
賞与引当金の増減額(△は減少)	△25,788	△22,452
返品調整引当金の増減額(△は減少)	△2,841	1,705
受取利息及び受取配当金	△66	△189
支払利息	475	651
助成金収入	△2,255	△670
前受金の増減額(△は減少)	235,397	167,057
売上債権の増減額(△は増加)	26,638	△31,239
たな卸資産の増減額(△は増加)	18,569	19,613
仕入債務の増減額(△は減少)	9,599	2,809
未払金の増減額(△は減少)	70,858	△10,577
その他	24,660	△45,185
小計	957,906	813,201
利息及び配当金の受取額	66	189
助成金の受取額	2,255	670
利息の支払額	△483	△670
法人税等の支払額	△171,969	△280,194
法人税等の還付額	1,179	8,634
営業活動によるキャッシュ・フロー	788,954	541,830
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△17,599	△3,406
無形固定資産の取得による支出	△132,829	△112,540
差入保証金の差入による支出	△323	△137,823
差入保証金の回収による収入	36,388	8,408
投資活動によるキャッシュ・フロー	△114,363	△245,361
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△25,500	△28,000
配当金の支払額	△213,444	△239,809
自己株式の取得による支出	—	△43,530
その他	△1,939	△1,378
財務活動によるキャッシュ・フロー	△240,884	△312,717
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,695	△901
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	432,010	△17,150
現金及び現金同等物の期首残高	3,135,773	4,010,159
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,567,784	3,993,008

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2018年1月1日至2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	営業イノベ ーション事 業	フィールド マーケティ ング事業	システム 開発事業	出版事業			
売上高							
外部顧客への売上高	2,216,687	1,806,110	200,519	105,193	4,328,512	—	4,328,512
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	13,165	976	16,789	6,879	37,810	△37,810	—
計	2,229,853	1,807,086	217,309	112,072	4,366,322	△37,810	4,328,512
セグメント利益 又は損失(△)	320,405	158,793	4,533	△22,281	461,450	△175	461,275

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△175千円には、固定資産の調整額9千円、棚卸資産の調整額△184千円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2019年1月1日至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	営業イノベ ーション事 業	フィールド マーケティ ング事業	システム 開発事業	出版事業			
売上高							
外部顧客への売上高	2,560,981	1,997,736	194,288	99,296	4,852,302	—	4,852,302
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	16,036	1,632	17,585	381	35,635	△35,635	—
計	2,577,018	1,999,368	211,873	99,678	4,887,938	△35,635	4,852,302
セグメント利益 又は損失(△)	409,260	197,844	4,818	△30,016	581,906	△140	581,766

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△140千円には、固定資産の調整額△96千円、棚卸資産の調整額△44千円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。